

平成24年度 上春別中だより《第10号》

# みずなら



＜発行責任者＞  
校長 田中 彰  
(8月31日 発行)

指 標：『**刻苦勉勵**』(こっくべんれい)

## ＜ 教 育 目 標 ＞

知性を磨き 心豊かに逞しく

## ＜ 校 訓 ＞

自主 協調 実践

## ＜めざす生徒像＞

自ら感じ 考え 行動する生徒

学校のブログもご覧下さい <http://b-school.jp/blog/skamisyn/index.php>

## 学級弁論大会が終わり、9月11日(火)の校内弁論大会に7名が選出されました

8月28日(火)に1年生が、29日(水)に2,3年生が学級弁論大会を行いました。

1年生の演題は

- 陸上部で良かった ○家族の中の一人として ○**コケイン症候群で苦しんでいる人たちの未来**
- 努力の大切さ ○スポーツが強くなるには ○生きる力の強さ ○**脱原発**
- 絶滅危惧種の動物たちのために ○オリンピック無気力試合について
- 命を大切にしてほしい** ○**笑顔の魔法**

2,3年生の演題は

- オリンピックを見て ○宇宙の中の人類 ○自然の大切さ！
- 支える** ○宝物 ○**伝えること** ○**二人への感謝**
- TPPと酪農経営の関係 ○自殺について

審査の結果上記の  の生徒7名が校内弁論大会への出場者として決定しました。お忙しい中、来校してご覧頂いた保護者の皆さんありがとうございました。

9月11日(火)の5,6時間目に校内弁論大会を開催しますので、保護者の方もぜひ来校されて、発表をご覧ください。



## スキルアップタイムについて

夏休みにスキルアップサマーと名付けての学習会を実施しましたが、2学期においても継続的なドリル学習での基礎学力の定着を目指すことが必要だとの認識で、週1回のドリル学習の時間を設定し、スキルアップタイムと名付けました。実施可能な週の水曜日の放課後30分間を使い、当面は数学のプリントを使っての反復ドリル学習を行います。1回目の様子を見ると、集中して30分間でプリントを3枚から4枚程度こなしている生徒が多数いました。継続する事を大切にして実施していきます。

## 1学期の学校評価について

1学期末に生徒と教職員に1学期を振り返って評価をしてもらいました。

生徒評価については、学年による差と項目による差が大きいのが特徴的でした。

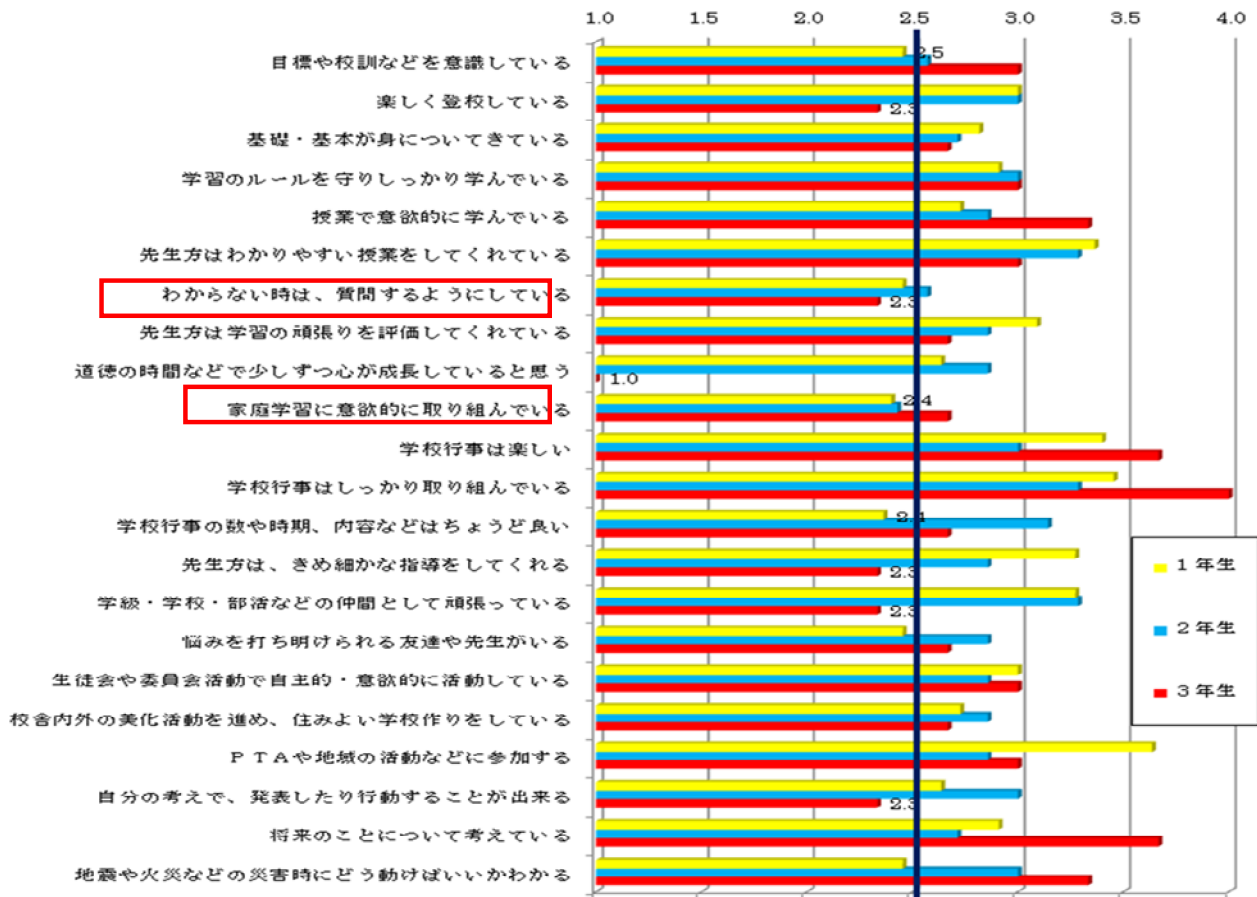
この生徒と教職員の評価を分析して、**差が大きい項目や低い評価に対して2学期開始から具体的な対策を立てて取り組みを強化**しています。

すぐには効果が出づらいものもありますが、2学期の評価では改善されるようにしていきます。

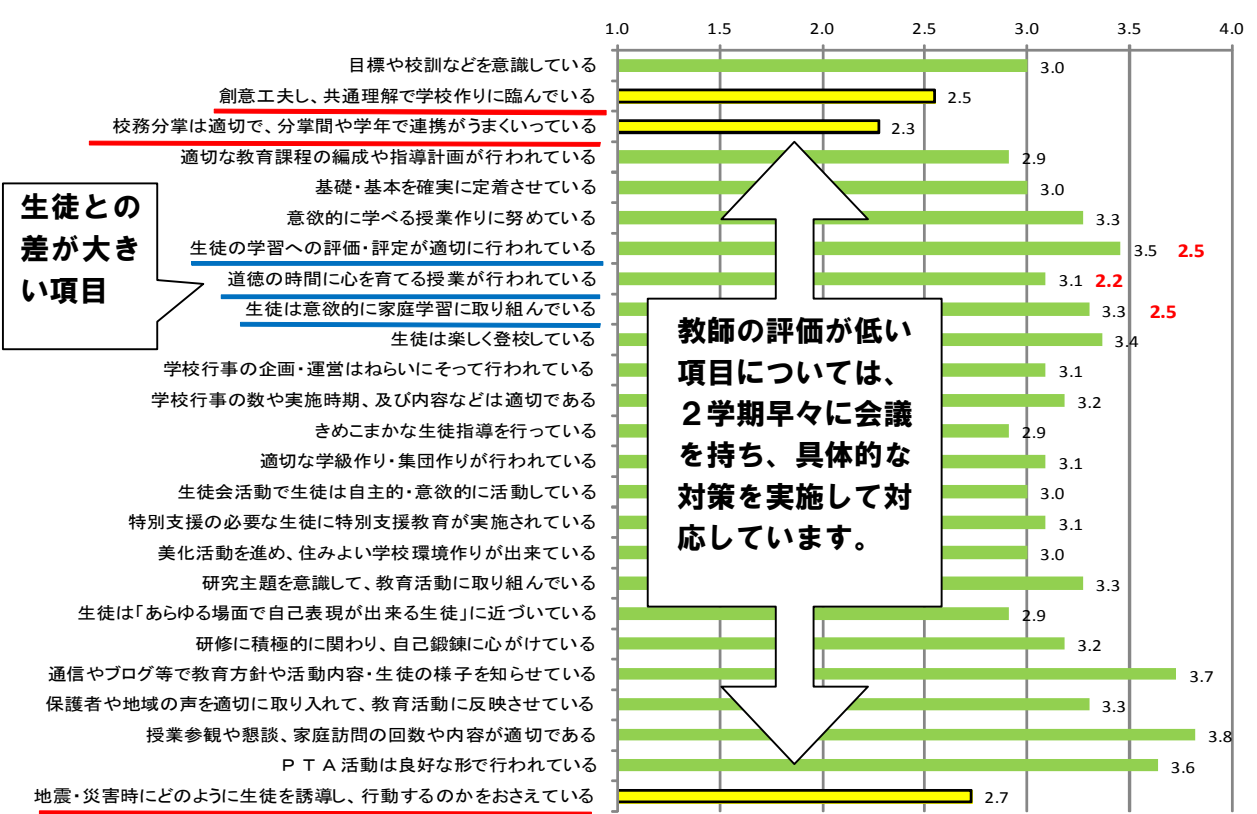
保護者の皆様には、あくまでも特徴や傾向を見るための資料だと判断していただき、今後も学校の様々な取り組みに助言いただいたり出来れば幸いです。

特に学習面に係わっての「わからない時は質問する」と「道徳の時間の工夫」と「家庭学習への意欲」については、各学年と各教科で重点的に取り組んでいきますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。

## 生徒



## 教職員



※生徒と教職員で共通の項目とそうではない項目があります。